

SHIRAKOBATO

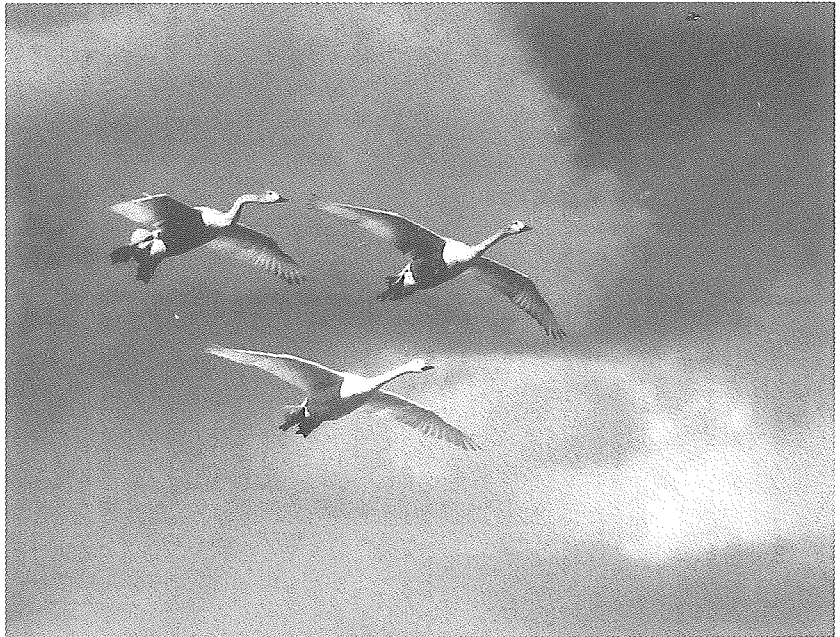
しらこぼと



2002. **1**

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 213

日本野鳥の会 埼玉県支部

マイ・フィールドを楽しもう

玉井 正晴 (蓮田市)

今月号は、『しらこぼと』2000年7月号の特集「私のお気に入り、蓮田市黒浜沼周辺」の続編にもあたります。黒浜沼に通い始めて7年余、この私の経験を自分のフィールドを持つとうとしている方々の参考にしていただければと思います。

自分のフィールドがあれば…

天気が好く、しかも時間の余裕がある時はどうされていますか？ 自宅近くに自分のフィールドがあれば、間違いなくいそいそと出かける事でしょう。マイ・フィールドの良い点はいつでも好きなきに楽しめることに加えて、同じ場所で継続して見ていると季節の変化をより一層敏感に感じられることです。また、マイ・フィールドでの新しい鳥を見つけた時はライフリストが増えた時と変わらない感激が得られます。さらに、いつの間にか周辺の人達と知り合いになれることも見逃せません。

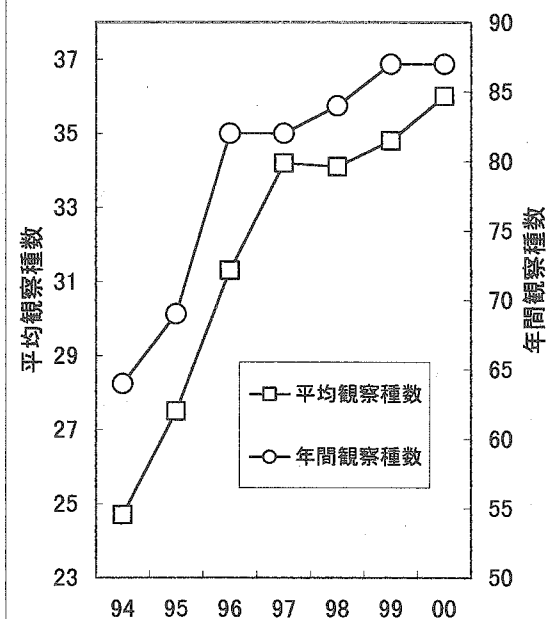
しかし、「自分の家の周りには鳥がない」という声も聞きます。私の経験では、その場所を熟知しないと観察種数は増えません。ビ

ギナーの場合はなおさらです。私も黒浜沼を定期的に回ろうと決めた最初の年は、鳥が見つからず、決心したことを何度も後悔しました。しかし、徐々に楽しめるようになって来て、今も飽きずに通い続けています。

場所の選択

探鳥会に足繁く参加するようになってから、自宅の周辺をあちこち鳥のいそうな所を探して歩きました。おかげで蓮田市内はずいぶんと詳しくなったのは余禄でしょうか。定期的に通っているのは黒浜沼周辺のみになってしまいましたが、折々の季節に年に数回訪れる場所が多く残りました。水と緑の有るところなら、結構鳥が見つかるようになるものだというのが私の感想です。

図1 観察種数の推移



観察種数の推移

図1に示すように1回あたりの観察種数と年間観察種数は年々飛躍的にのびています。特にビギナー同様であった最初の4年間は直線的に増え、その後もいまだに少しずつ上昇しています。これだけ通っても黒浜沼を熟知するに至っていないということだと思います。2000年末迄の7年間に、黒浜沼周辺で通算115種見っていますが、最初の年は1年間で66種しか見ることが出来ませんでした。つまり、最初はあまり鳥がいないと思って、続けていけば見つかる鳥はどんどん増えるということがよく分かると思います。

識別

一人で鳥を見ても自分では識別出来ないと言う人がいます。私の場合は、探鳥会で何度か見せてもらって、覚えた頃になってからマイ・フィールドで見つかるケースがほとんど

だったので基本的には困りませんでした。

もちろん、チラッとしか見えなくて、何だったんだろうと考え込むことはしばしばです。出来るだけ逃げられる前に細部も必死で見る様になっています。ぼんやりとしたイメージだけが残り、フィールドガイドで調べようにも、調べられない場合が良くあるからです。

同じ場所だと飽きる？

同じ場所を長い間通い続けると飽きるのではないかと思う方はいるでしょうが、行くたびに何らかの新しい発見があり、飽きません。新しい鳥が年に5,6種は見つかりますし、見たこと無いような“しぐさ”を見ると、妙に楽しい気持ちになります。木々の緑の変化や花も目に入ってきて、当分飽きることはなさそうです。

記録を残す

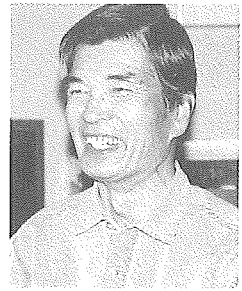
記録する事は決して面倒な仕事ではありません。帰宅後、のんびりとコーヒーを飲みながら（ビールだともっと良い）記録を付け始めると、鳥のいた場面を思い出して、もう一度楽しむことが出来ます。記録を見て、「そろそろあの鳥が来ているかもしれない」などと考えると、鳥見に出かける足も弾みます。

雨の日などにデータをいじくり回していると結構新しい発見があって楽しいものです。例えば、渡り鳥（及び漂鳥）の秋期の終認（セッカのさえぎり・ツバメ）と初認（他4種）日を集めてみました（図2）。土日のみの観察記録なのでかなりぶれはあるかと思いましたが、調べてみると鳥達の移動時期はかなり一定している様です。

おわりに

探鳥会ではある程度確実に鳥が見られるし、仲間との会話も楽しいものです。しかし、あなたの自宅付近でも十分楽しめる場所があると思います。いないと思っていると見つかりません。マイ・フィールドでの鳥見とは、自分一人で鳥見をすることで、最初の内はビギナーには少しつらい部分があると思いますが、是非、自分で鳥を見つけて楽しむことも試し

新年
明けまして
おめでとう
ございます



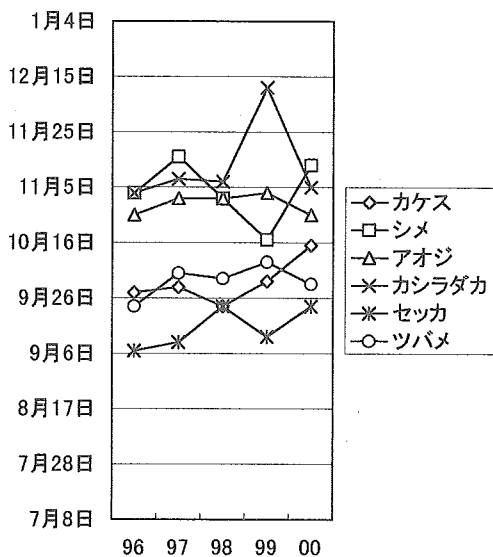
会員の皆様におかれましては、ご家庭で、探鳥地で新年をお迎えのことと存じます。

現在、年間100回以上の探鳥会を行い、地域に根付いた普及活動を行っています。より一層の自然保護思想の普及を図っていきたいと思います。

今年の4月から、公立学校の週休2日制が始まります。小中学校では総合的な学習の時間も増えます。当支部にも講師依頼が増えるものと予想します。子供達に自然のすばらしさや大切さを教える絶好の機会です。支部の体制をととのえ対処していく考えです。

健康に気をつけて、今年1年、よい年であることを祈ります。 支部長 中島康夫

図2 来る鳥・去る鳥（秋期）



て見てください。

探鳥会とマイ・フィールドでの鳥見と両方を併行するのが最高ではないでしょうか。

本部のバードウォッチング検定・バードウォッチング案内人研修会と、 支部のリーダー・幹事との関係について

日本野鳥の会埼玉県支部役員会

本部ネイチャースクール担当で既に実施されているバードウォッチング案内人研修会に加えて、新たにバードウォッチング検定というものが始まることは、『野鳥』誌や新聞などでご存知の方は多いことと思います。

Q：これらの研修会や検定を受ければ、埼玉県支部のリーダーや幹事になれるのでしょうか。

A：そういうことではありません。埼玉県支部のリーダーになるには、埼玉県支部が毎年実施しているリーダー研修会に出席して、安全対策や支部の実情などに対してある程度の共通認識を持っていただくことが必要です。そして、そのリーダー研修会に参加できる資格は、支部会員であることと、あとは唯一「熱意」です。

極端に言えば、野鳥に関する知識などは、その後で勉強してもよく、本部の研修会や検定は、その勉強の機会のひとつと考えると良い訳です。

Q：という事は、埼玉県支部のリーダー・幹事になるには、本部の研修会や検定を受ける

ことが必要条件という訳ではないし、既に支部リーダー・幹事になっている者も、これらの研修会や検定を受けなければならないという訳でもないのです。

A：そうです。埼玉県支部のリーダー研修会に参加できる資格は前に述べた通りです。本部の研修会や検定は関係ありません。

ネイチャースクールから各支部の支部長宛 11月6日付文書には、「検定は支部運営の立場からすれば、人材養成や登用などの際の目安になる」という趣旨の文章がありますが、私たちは、こういう考え方をとりません。

私たちが重視しているのは、人と人とのつながりです。そのつながりの中で、新たに幹事をお願いしたい人を見出したりしています。外部的な資格などを目安にはしません。

これらの研修会や検定で勉強するのは自由ですが、必要条件や義務ではありません。

「熱意」だけを唯一の資格として安心して支部リーダー研修会に参加してください。そして、支部活動への気軽な手助けをお願いします。

県内野鳥記録の追加情報

日本野鳥の会埼玉県支部野鳥記録委員会



●マミジロキビタキ

分類 スズメ目ヒタキ科ヒタキ亜科キビタキ属

学名 *Ficedula zanthopygia*

英名 Tricolor Flycatcher または
Yellow-rumped Flycatcher

2001年5月28日、さいたま市秋ヶ瀬公園園子供の森ゴルフ場脇で、矢後寿夫氏（さいたま市）が撮影。11月に写真が送られてきました。

委員会では眉斑の色、翼の白斑の形状などからマミジロキビタキと同定。

本種は、1980年6月に所沢市内で観察が報告されていますが、裏づけとなる写真などの資料がありませんでした。今回が県内初の確認記録になります。

県内野鳥リスト 310 番目の追加です。

ロシア南東部・中国東北部・朝鮮半島で繁殖し、冬はマレー半島に渡ります。日本には数少ない旅鳥として主に日本海側に飛来し、川沿いの広葉樹林などに生息、生態はキビタキに似ています。



川口市見沼第一調整池 ◇9月27日、トウネン1羽、コアオアシシギ2羽、セイタカシギ1羽、オナガガモ2羽、キンクロハジロ1羽、ショウドウツバメ、ツバメ、イワツバメ、ノビタキ1羽、アマサギ2羽他(新井勇吉)。

さいたま市下山口新田～川口市差間 ◇10月22日午後1時頃、ハマシギ4羽、ユリカモメ1羽。10月26日午後1時頃、ハマシギ2羽、ノビタキ2羽、オオジュリン10羽(鈴木紀雄)。

さいたま市秋ヶ瀬公園 ◇10月19日午後2時頃、子供の森でキビタキ♀1羽、エゾビタキ1羽、シメ、アカゲラ。ピクニックの森でコサメビタキ1羽、エゾビタキ2羽、アオジ(鈴木紀雄)。◇10月19日、こどもの森でシメ20～30羽の群れ。キビタキ♀2羽、エナガ。10月19日、ピクニックの森でハンノキにマヒワ50羽以上かと思われる群れを見ていたら、目の前にエゾビタキが現れた(小林ますみ)。◇10月27日午後4時30分ピクニックの森でオオアカゲラ1羽、巣穴にお帰り。入ってすぐさま顔を出し、そのまま天空を仰ぐような格好で約20分。周囲が薄暗くなり、根負けして再度全身を見ずに帰途についた。10月31日、オオアカゲラの巣穴にアカゲラ2羽飛来。1羽は巣穴の奥深く入り込んだが、数秒で出て来た。背中模様の違いを比較するのに良いチャンスとなった(陶山和良)。◇11月7日午前8時頃、ピクニックの森でミヤマホオジロ♀を見ました。去年に続き来てくれたので今後が楽しみです。♂も来てくれることを期待しています(渡邊一)。

さいたま市下野田 ◇10月22日午前11時頃、地下鉄浦和美園駅付近でジョウビタキ♂1羽(藤原寛治)。

さいたま市芝川 ◇10月31日、新見沼大橋の少し下流の芝川の土手でケリ1羽。工事中の土手でしばらく滞在。折からの夕日に映えていました(楠見邦博)。

さいたま市吉野町 ◇11月4日午前7時30分頃、つつじヶ丘公園近くの電線でキビタキ(かわいい)を見ました。1ヶ所にあまりながくはとまらず、あちこち場所を変えて鳴いていました。写真通りのきれいな色でした(斉藤みつ江)。

さいたま市染谷新田 ◇11月6日、ミヤマガラス約100羽、加多屋川沿いの田んぼで餌をついばんだり、飛び回っていました(楠見邦博)。

戸田市道満彩湖 ◇10月24日、アマツバメ3羽、キセキレイ1羽、ジョウビタキ♂2羽♀5羽、マミチャジナイ♀1羽、シメ12羽。10月27日、カンムリカイツブリ2羽、オシドリ♀1羽、オオバン6羽。いつもの鉄塔でハヤブサ1羽。11月9日、ミコアイサ♀エクリップス1羽(倉林宗太郎)。◇10月27日、バン5羽、内幼鳥3羽。カイツブリ3羽、内幼鳥1羽。モズ1羽(陶山和良)。

松伏町大川戸 ◇10月2日、公園予定地で池が掘られ、そこでカモ7種、約200羽。コガモ、カルガモ、マガモ、オナガガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ。10月14日には、カイツブリとバンも入っていました。これからが楽しみです(橋口長和)。

岩槻市岩槻文化公園 ◇10月16日午前9時30分頃、アカゲラ♂1羽、キビタキ♀2羽、エゾビタキ1羽、ホオジロ、アカハラ?2羽、元荒川の岸でアオアシシギ1羽。10月19日午前9時30分頃、頭上すぐ上の枝でトケン類1羽、こちらが見あげた瞬間、あちらも振り向き、目と目が合ったと思ったとたん、飛び去った。10月21日午前9時30分頃、アオジ初認、アカゲラ。10月25日午前10時頃、「クイクイクイ」と鋭いアリスイの声、姿は見えず。10月30日午後1時頃、元荒川の岸でイカルチドリ3羽、イソシギ1羽。10月31日午後1時30分頃、ジョウビタキ♂♀、ツグミ2羽、アカハラ?2羽、灌木でアリスイ1羽、枝をよじ登って動き回っていた。11月1日午後1時、ヒガラ1羽。11月2日午後1時30分、アカハラ2羽、シロハラ2羽、ベニマシコ♂。上空高く、カラス2羽

にモビングされて飛ぶツミ? 1羽 (鈴木紀雄)。

岩槻市小溝 ◇10月23日午後4時頃、親水公園の近くでジョウビタキ♂1羽、この秋始めてみました。毎年同じ所にやって来ます。近くの川ではカワセミが2羽並んでいました (高橋はる子)。

春日部市内牧 ◇10月18日、宮代側でアカゲラ♀、シメ1羽 (鈴木紀雄)。

蓮田市黒浜 ◇10月18日午後2時頃、上沼近くの林縁でオオタカ若鳥1羽がカラスにモビングされて低空を飛翔。10月25日、午後2時頃、東埼玉病院内でアカハラ2羽以上、シメ約5羽、カケス3羽以上、アオジ。10月29日午後2時30分頃、東埼玉病院内でシメ約20羽、非常に多い。コサメビタキ1羽、カケス2羽 (鈴木紀雄)。

渡良瀬遊水地 ◇遊水地では、一頃のツバメの晦入りが着き、渡りの鳥達も秋から冬へと移ってきました。ノゴマ♂や10月7日は、ミサゴ一度に5羽。10月6日~8日、キセキレイ50~100羽を観察。また、アオバズク、コノバズク、シマセンニュウ、ノビタキなどがバンディングされています (内田孝男)。◇11月1日、ツグミ13羽。タカ見台手前の新赤麻橋の上流の木立にとまっていた。今冬の初認。その他、10羽位の群れが3~4群れ飛び交っていた。まだ到着したばかりか! (松井昭吾)。

所沢市山口 ◇10月12日午前11時頃、マンションの中庭のケヤキの木でエゾビタキ1羽。盛んに虫を捕える様子を、家の窓からじっくり観察できた (小林ますみ)。

小川町仙元山 ◇10月20日午後2時頃、パラグライダーの飛び立つ斜面をノスリが1羽、グラディングのお手本のような見事な飛翔。

パラグライダーの鳥人、いい勉強になったかな? (松井昭吾)。

川本町荒川明戸堰上流~熊谷市大麻生 ◇10月20日午前9時30分~12時30分、白鳥飛来地駐車場近くの林でキビタキ♂♀各1羽。シメ10数羽、カシラダカ10数羽、ビンズイ3羽、マガモ約100羽、ユリカモメ4羽、ショウドウツバメ約15羽、ノスリ1羽、トビ1羽、大麻生河川敷でアオアシシギ2羽、ジョウビタキ♂1羽他計36種 (後藤康夫、北村隆、澤井清)。◇11月4日午後2時30分、明戸堰上流でコハクチョウ43羽、ツグミ約30羽、タヒバリ3羽、マガモ、カルガモ、オナガガモ、ホシハジロ、スズガモ3羽、ホオジロガモ2羽他計27種 (後藤康夫)。

川本町 ◇11月3日午前9時頃、森から突き出た枯れ木の頂上にとまって辺りを見回すオオタカの成鳥を発見した。背は青黒く、胸から脚は白くてコントラストが美しかった。11月4日午後3時頃、昨日と同じ場所でオオタカを待つが、時折飛来し、森の上空を横切るものの、なかなか木にとまらないので、場所を移動したところ、午後4時20分頃、森の中の高い杉の木の頂上でオオタカを発見。西日を受けて黒い背と白い胸のコントラストが一段と凛々しい (大澤あつし)。

川本町芳沼 ◇10月20日午後1時20分~2時10分、ハジロカイツブリ夏羽1羽、カルガモ、マガモ、コガモ、オナガガモ、スズガモ、キンクロハジロ、ヒドリガモ、ホシハジロ、カイツブリ、コサギ、カワセミ、キセキレイ (後藤康夫、北村隆、澤井清)。

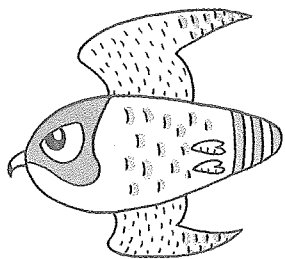
寄居町玉淀湖 ◇11月4日午後12時30分、オシドリ約130羽、玉淀湖の堰上流300mの所に集まっていた (後藤康夫)。

表紙の写真

ガンカモ目ガンカモ科ハクチョウ属コハクチョウ

撮影：山内元 (富士見市) ユーラシア大陸極北部で繁殖し、ヨーロッパ北西部・日本・朝鮮半島・中国南東部に渡って越冬する。日本へは、オオハクチョウより早い時期から渡来し、より南の方まで行く。八重山諸島でも記録がある。近年県内でも餌付けが行われ、川本町の荒川には100羽以上が集まるが、1箇所にも多数が集まることの弊害、本来自然であるべき生態に人為的な影響を与えてしまう危険性なども心配されている。(解説：編集部)

行事あんない



(何森 要)

さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月3日(木・祝)
集合：午前9時30分、さぎ山記念公園駐車場。
交通：大宮駅東口7番バス乗り場から大01、02、02-2、02-3系統で約20分、「さぎ山記念公園」下車、当日は正月ダイヤで1時間に3～4本運行される予定です。
担当：海老原、楠見、福井、工藤、櫻庭
見どころ：毎年恒例食べ物飲み物持ち寄りの探鳥会です。ツグミ・オオジュリン…いつもの鳥たちに新年の挨拶をした後は、公園の一角で野外新年会！

春日部・内牧公園探鳥会

期日：1月6日(日)
集合：午前8時30分、東武伊勢崎線春日部駅西口朝日バス1番バス停前。集合後、8：45発春日部エミナス行きにて「共栄大学・短大前」下車。または午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。
担当：吉安、中村(榮)、橋口、新井(良)、松永、宮下、吉岡(明)、田村、廣川
見どころ：まだお正月気分の抜けきらない頃ですが、田んぼ道も歩き、新春の探鳥を春日部の里山で楽しんでみませんか。

千葉県船橋市・船橋海浜公園探鳥会

期日：1月6日(日)
集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候の時は中止、小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

口付近(広い改札口です。)集合後、駅南口から南へ約300m歩き、京成バス9：40発船橋海浜公園行きに乗車、終点下車。公園には駐車場あり。

担当：杉本、佐久間、菱沼(一)、齋藤
見どころ：冬の三番瀬はハズレがありません。日本一のスズガモ・ミヤコドリ、その他の珍鳥も探しましょう。天候が急変することもあり、それなりのご用意を。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：1月11日(金)
集合：午前10時10分、森林公園南入り口前。
交通：東武東上線森林公園駅下車。森林公園南口行き9：54発バスにて終点下車。
費用：入園料400円(子供80円)
担当：藤掛、大坂、櫻庭、兼元、堀(敏)、堀(久)、高橋、池永
見どころ：今年の観察記録に森林公園のヒタキ類やカモの仲間を加えて見ませんか。昨年は雪の後に園内バス路を山田大沼まで歩きました。熱いお茶など持参でお出かけください。

久喜市・菖蒲公園昭和池探鳥会

期日：1月12日(土)
集合：午前9時30分、久喜菖蒲公園駐車場。
交通：JR宇都宮線白岡駅西口から、東武バス菖蒲仲橋行き8：49発にて「除堀(よけぼり)」下車。徒歩約15分(バス停からご案内します。)

担当：大坂、玉井、内田、長嶋、伊藤（隆）
見どころ：今回は雪のために中止で、2年ぶりとなりました。昭和池はトモエガモの飛来地として知られているのですが、今年はどうでしょうか。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：1月13日（日）
集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷9：11発、または寄居8：49発に乗車。
担当：和田、森本、中里、石井（博）、倉崎、高橋、後藤、藤田
見どころ：前年の冬には、ミヤマホオジロ、ベニマシコ、ヒレンジャクなど、なかなか見られない鳥が来しました。この冬の渡りは、この案内原稿を書いている時点では順調のようです。一年を祈念しながら枯野を歩きましょう。何かいいことがあるかも……。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：1月13日（日）
集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。
または午前8時30分、中央エントランス駐車場。
交通：東武日光線新越谷7：15→春日部7：29→栗橋7：54→柳生8：04着。またはJR宇都宮線大宮7：08→栗橋7：43着にて、東武日光線乗り換え。
解散：午後12時半ころ、谷中村史跡駐車場。
担当：橋口、玉井、中里、田邊、内田、四分一、田村、伊藤（隆）
見どころ：おなじみのカモ類はすでに勢ぞろいの谷中湖ですが、今年もマガンが来てくれるのでしょうか。今回は鷹見台までの強行軍の予定です。昼食持参でお出かけください。

戸田市・彩湖探鳥会

期日：1月13日（日）
集合：午前9時20分、彩湖道満グリーンパーク中央駐車場。
交通：JR埼京線武蔵浦和駅2番バス乗り場

から、下笹目行き8：37発にて、「彩湖道満グリーンパーク入り口」下車。交差点まで戻り左折して土手を越える。（バス乗車駅が変わりましたのでご注意ください。）

担当：倉林、藤掛、百瀬、有馬、森（秀）、馬場
見どころ：遠く奥多摩や奥秩父の山々を見ながら、冬の一日を楽しまませんか。冬鳥たちが待っています。

吉見町・吉見百穴公園周辺探鳥会

期日：1月19日（土）
集合：午前9時20分、吉見百穴公園前。
交通：JR高崎線鴻巣駅東口、中村カメラ店前から、朝日バス8：40発、東松山行きにて「百穴入口」下車、徒歩約5分。
担当：榎本（秀）、岡安、内藤、藤掛、島田、立岩、今井
見どころ：市野川ぞいを土手づたいに鳥影を探します。冬枯れの草むらに小鳥たちの気配を感じて見ませんか。
注意：駐車場利用者は、必ず百穴入場券を購入してフロントガラス内側に見えるように置いてください。

「しらこぼと」袋つめの会

とき：1月19日（土） 午後1時～2時ごろ
会場：支部事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：1月20日（日）
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺（周）、若林、兼元、森（力）、新部、小菅
見どころ：新年は三室でという仲間が増えていきます。昨年は非常に厳しい年でしたので、今年こそ明るい年にしたいものです。もちろん人だけでなく鳥たちも。

長瀬町・長瀬探鳥会

期日：1月20日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道長瀨駅前。
交通：秩父鉄道熊谷8：17発、寄居9：05発、
または御花畑8：43発に乗車。
担当：小池（一）、佐久間、青山、井上、堀
（敏）、堀（久）、喜多、堀口、小池（順）、
大澤
見どころ：ここでは水辺の鳥を中心に、40種
前後の野鳥が観察できます。オシドリ
やヤマセミには事前に予約しておきま
すが…？ 河原を歩きますので、足ご
しらははじゅうぶんに。

千葉県・銚子港探鳥会（要予約）

期日：1月26日（土）～27日（日）
定員に達しましたので締め切りました。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：1月27日（日）
集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。
交通：西武新宿線本川越8：42発、所沢8：
36発に乗車。
担当：長谷部、高草木、藤掛、中村（祐）、
山本（真）、久保田、山本（義）、石光
見どころ：入間川は冬がベストシーズン。寒
さは厳しいけれど、鳥の種類は40種を
超えます。昨年見られたトラツグミや
ルリビタキにまた会えるかも。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：1月27日（日）
集合：午前8時45分、JR宇都宮線蓮田駅東
口バス停前。
担当：田中、玉井、中村（榮）、吉安、長嶋、
長野、松永、榎本（建）
見どころ：沼にはカモたち、アシ原にはアオ
ジ・カシラダカ・オオジュリン、木立
にはモズ・シメ、田んぼにはヒバリ・
タヒバリ。アカゲラやオオタカ・タゲ
リ・カワセミが出てくれれば最高！

野田市・清水公園探鳥会

期日：1月27日（日）
集合：午前9時30分、清水公園仁王門前。
交通：東武野田線大宮8：19発、春日部8：

48発柏行きにて清水公園下車。徒歩約
10分。

担当：田邊、新井（良）、吉岡（明）、本田、
大塚、小菅

見どころ：昨年は足元に雪の残るなかでした
が、野鳥たちは元気でピンズイ・オオ
ジュリン・カワセミをじっくりと見る
ことができました。今年はどうな鳥が
出現するか、楽しみです。

◆ご注意◆

●風邪のはやる季節、都市部は暖かくても、
野山や河川・湖面をわたる風は大変冷たいの
で、防寒じたくははじゅうぶんに、温かい服装
でお出かけください。

●電車バスの多くが12月に時刻表を改正しま
した。本欄作成時にわかっているところは訂
正しましたが、違っていることがあるかもしれ
ません。申し訳ありませんが、ご注意をお
願います。

サンカノゴイ

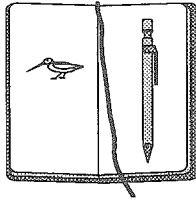
小林みどり（大和市）

ある朝の通勤電車（京浜東北線）の中、半
分ふさがっていた私の睡（酔？）眼は、窓の
外を一瞬通り過ぎた線路際のある看板で全開
してしまいました。その看板には、墨黒々と
“サンカノゴイ”と書かれていたのです！。
京浜東北線といえば首都圏の大動脈。なぜ、
そんなところにサンカノゴイの看板が？？。
サンカノゴイがいるわけがないし、考えられ
るのは、鳥好きな人が経営しているお店の名
前？。だとしたら何のお店だろう？。

これは、ぜひ、つきとめなくては！。

翌日は、線路際のサンカノゴイの正体を暴
かんと、眼をらんらんと輝かせ、窓に顔を押し
付けてスタンバイ。

結果は……。サンカノゴイと見えたのはサン
ゴイの見間違え。それは産婦人科の看板
で電話番号“3541”の語呂合わせ（産後良い）
でした。



行事報告

8月5日(日) 北本市 石戸宿

参加: 38人 天気: 曇

ゴイサギ ダイサギ アオサギ カルガモ オオタカ コジュケイ バン キジバト コゲラ ツバメ ヒヨドリ モズ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (22種) ふれ合い橋の上空を2羽のオオタカが飛んだ。行く途の榎の下にコジュケイが2羽いて、皆でじっくり見られた。高尾の池のまわりにあるヨシ原にゴイサギの成鳥と若鳥がたくさんいた。バンの子育ては順調に行っているようだ。ごみ拾いお疲れ様。(岡安征也)

9月9日(日) 熊谷市 大麻生

雨のため中止。

10月7日(日) 北本市 石戸宿

参加: 55人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ バン キジバト コゲラ ツバメ ヒヨドリ モズ エゾビタキ コサメビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) ちょっと遠かったのだが、渡りの途中のコサメビタキとエゾビタキが見られた。猛禽類ではオオタカとチョウゲンボウが出現した。カモ類もやってきていた。トケン類とヨシゴイ(幼鳥)は本番では見られず、残念だった。百瀬氏より長崎県での鳥の渡りの話をうかがった。(岡安征也)

10月20日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 13人

荒木恒夫、伊藤泰一郎、江浪功、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐久間博文、志村佐治、成瀬慶一、藤野富代、増尾隆、松村禎夫、山野豊

10月20~21日(土~日) 長野県 戸隠飯綱高原

参加: 18人 天気: 快晴、曇

カイツブリ オシドリ カルガモ コガモ ヒドリガモ ミサゴ トビ ノスリ イヌワシ キジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ キセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ ジョウビタキ アカハラ シロハラ マミチャジナイ ツグミ ウグイス キクイタダキ キビタキ ムギマキ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ マヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (48種) バスで高度を稼ぐと周囲は次第に秋色に。小雨もばらついたが、青空も出てきた。一の鳥居ではアトリの群れに囲まれながら、早い昼食をとる。黄金色のカラマツ林を台座法師池に下る。林床には色々なキノコが顔を覗かせていたが、真っ赤なベニテングダケが印象的であった。夜はお酒も入り、ベニテングも多く出現した。翌日もまぜまぜの天気。森林植物園でツグミの群れ、アカハラ、シロハラ、そしてお目当てのマミチャジナイ。なぜかクロツグミ。数が多くて視点が定まらない。途中、アトリの群れ、カラの混群にも出会いながら、牧場へ。キノコ汁で身も心も温まったところで無事探鳥会も終了した。(菱沼一充)



10月21日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加: 43人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサ

ギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ハヤ
 ブサ シラコバト キジバト カワセミ アカゲ
 ラ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキ
 レイ ヒヨドリ モズ アカハラ ツグミ ウグ
 イス エナガ コガラ ヤマガラ シジュウカラ
 メジロ ホオジロ カワラヒワ シメ スズメ
 ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハ
 シプトガラス (37種) 風もないおだやかな日。カ
 イツブリは、もぐってはザリガニ、ドジョウをつ
 かまえ、飲み込むところを見せてくれた。なか
 かなか見られない光景に満足し、楽しい一時だ
 った。浅間山の木では、アカゲラ♀が出てくれ
 た。古墳の池では、例年より多くのカモたち
 (約100羽) が楽しませてくれた。初登場のハ
 ヤブサも一部の人は見て、鳥影が少ない割に
 は多くの種が見られて、リーダーはホッ。
 (内藤義雄)

10月21日(日) さいたま市 三室地区

参加：63人 天候：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
 ギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ チ
 ョウゲンボウ バン オオバン イソシギ ユリ
 カモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ
 ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
 シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ
 スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ
 シプトガラス (31種) ユリカモメがロシアから帰
 ってきた。三室が遠くの国とつながっているの
 を実感する。ひさしぶりにオオバンが出現。バン
 と並んで芝川を泳いでいる。秋が見沼たんぼにゆ
 っくりとやってきた。
 (楠見邦博)

11月4日(日) 上尾市 丸山公園

参加：59人 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
 ギ カルガモ オナガガモ オオタカ チョウゲ
 ンボウ コジュケイ イソシギ キジバト カワ
 セミ アオゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ
 ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
 ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ
 メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムク
 ドリ カケス ハシボソガラス ハシプトガラス
 (34種) スタートするとすぐに森の中でアオゲラ
 が出迎えてくれた。池ではカワセミが大サービ
 ス。南口駐車場では、イチヨウやケヤキの艶やかな装

いに足を止める。天高く秋の空チヨウゲンボウが
 舞う。土手を登るとなんと富士山の絶景。全員息
 を呑む。地元の小学生4人の参加も会を賑やかに
 してくれた。
 (中里裕一)

11月8日(木) 栃木県 奥日光

参加：27人 天気：晴

マガモ コガモ トビ ノスリ アカゲラ コゲ
 ラ セグロセキレイ ヒヨドリ カワガラス ミ
 ソサザイ ジョウビタキ ツグミ コガラ ヒガ
 ラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ ベ
 ニマシコ スズメ カケス ハシボソガラス ハ
 シプトガラス (22種) 光徳牧場でバスから降りた
 とたんに、コガラ、ヒガラが出迎え。出発後スズ
 メ、ゴジュウカラの出現以外鳴き声も聞こえず心
 配したが、その後ミソサザイ、キバシリが度々姿
 を見せ私たちを喜ばせてくれた。湯川沿いではカ
 ワガラスやカラ類を、戦場ヶ原では一部の人だが
 ツグミ、アカゲラ、ベニマシコまで見ることがで
 きた。最後にノスリが男体山をバックに現れ、別
 れを惜しんでくれているようだった。(中村榮男)

11月10~11日(土~日) 長野県 白馬山麓

参加：21人 天気：曇~快晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイ
 サギ アオサギ オシドリ マガモ カルガモ
 コガモ キンクロハジロ ホシハジロ オオバン
 トビ ノスリ ワシタカ sp キジバト アオゲラ
 アカゲラ コゲラ ハクセキレイ セグロセキ
 レイ ヒヨドリ モズ カワガラス ミソサザイ
 ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ
 ウグイス キクイタダキ エナガ コガラ ヒガ
 ラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メ
 ジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ
 カワラヒワ マヒワ ベニマシコ ウソ シメ
 スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハ
 シプトガラス (52種) 白い息を吐きながら暗い山
 道をザクザクと歩いていく。やがて、稜線がピン
 クに染まり、山肌が赤く燃え上がっていく。この
 モルゲンロートの光景はただ見つめるだけで十分。
 霧氷に覆われた梢が輝き、コハウチワカエデ、ヤ
 マモミジ、カラマツなど、森の中も色とりどりに
 賑やかだ。青空をバックにマヒワがハンノキの実
 を食べている。今年の白馬の秋はいつになく鮮や
 かだった。
 (小池一男)

連絡帳

●諫早湾問題意見広告新聞掲載の報告

前月号でお知らせした意見広告について、諫早干潟緊急救済東京事務所から掲載の報告が届きました。短い期間で合計 50 万円という予想を超える寄付が集まり、10 月 31 日付西日本新聞長崎南版にくわえ、11 月 2 日付朝日新聞長崎全域版にも掲載でき、干拓事業推進派地域住民の一部の方と対話が始まっているとのことです。

●会員の活動いろいろ

9 月号でご紹介した記録映画「今森光彦の里山物語」上映会は、9 月 29 日(土)さいたま市大古里公民館で開催され、開催実現に尽力した楠見邦博監督が「映画の故郷を訪ねてーそして見沼」についても語りました。

山部直喜編集部長は、様々な指導依頼に大忙しです。

9 月 29 日(土)と 10 月 21 日(日)、越谷市自然ウォッチング指導員養成講習会の講師。

11 月 9 日(金)、越谷市立越ヶ谷小学校 5 年生の総合的な学習の時間で、「野鳥からみた越谷の環境」について。

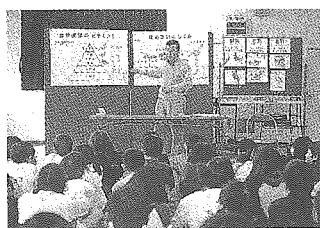
11 月 13 日(火)、越谷市立東越谷小学校 3 年生の総合的な学習の時間で、「越谷の自慢」シラコバトについて。

11 月 30 日(金)、平成 13・14 年文部科学省指定「環境教育推進モデル市町村」第 2 回推進委員会に出席。

樋口長和幹事は 11 月 13 日(火)春日部市立正善小学校 5 年生の総合的な学習の時間で「環境と野鳥」について 45 分間の授業を担当、写真を添えて次のように報告してきました。

「特に気をつかったのは、子供たちに授業に参加してもらうこと、つまり折りに触れ質問をして

答えてもらうことでした。例えば、5 年生では音読みと訓読みについて習うので、「留鳥は何読みでしょう」とか…。



「カラスが増えているが人間への影響は」と大人顔負けの質問を受けたりして、時間をオーバーしながらも無事授業を終えることができました。」

●1月の事務局 土曜と日曜の予定

5 日(土) 2 月号編集作業。

12 日(土) 2 月号校正。

19 日(土) 2 月号袋づめの会。

20 日(日) 役員会。

●会員数は

12 月 1 日現在 2,737 人です。

活動報告

11 月 10 日(土) 校正作業(海老原美夫、大坂幸男、藤掛保司)。

11 月 12 日(月) 普及部便り発送(海老原教子、楠見文子)。

11 月 18 日(日) 役員会議(司会:高草木泰行、各部の報告・バードウォッチング検定への対応・その他)。

編集後記

越谷市にはカラスの大規模な集団時がある。就時個体数を調べる「越谷市ふるさといきもの調査」のメンバーと、練習を兼ねて 1 時間ばかりの事前調査をした。結果は 5,144 羽! 予想をはるかに越えた数に、参加者 15 名絶句。調査本番が怖い。が、盛り上がっているのも事実。

(山部)

しらこぼと 2002 年 1 月号(第 213 号) 定価 100 円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒336-0012 さいたま市岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階

(財)日本野鳥の会 会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社